

【様式 1】

令和 4 年度

児童生徒と向き合う時間の確保とワーク・ライフ・バランスの実現に向けて

【夢が丘中学校】

取 組 目 標	目標達成に向けた具体的な取組	成 果	課 題
1 勤務時間の適正化を推進	・ 定時退勤日（金曜日）、ノー部活デー（水曜日）の完全実施 ・ 会議のペーパーレス化 ・ 学校行事の精選 ・ ICT、校務支援システムを活用した業務の効率化 ・ GPH50、いきいき部活動等を活用した取組の推進 ・ 自身のタイムマネジメントの確立を推進	・ 登下校時の立ち番指導の回数を減らし、一人あたりの職員の負担を軽減した。 ・ 自身のタイムマネジメントを意識することで、退勤時刻が早くなった職員が増加した。 ・ 学校行事の精選や運動会・文化祭の規模の縮小化を推進することができた。	・ 放課後登校の生徒対応や家庭訪問で、定時退勤日を守れていない実態がある。現状を考えると、全職員が同じ日に定時退勤をすることが難しいので、来年度は個別に週 1 回定時退勤日を設定する等の取組が必要である。
2 健康・福祉の確保	・ 計画的な年次休暇の取得を推進 ・ 各種休暇制度等の周知 ・ 家事・育児への参画等がしやすい勤務環境の整備 ・ 風通しのよい職場づくりの推進	・ 長期休業やテスト期間を活用して、計画的に年次休暇を取得する職員が増加した。 ・ 各種休暇制度を職員に周知したことで、育児休暇や介護休暇制度を積極的に活用する職員が増加した。	・ 昨年より年次休暇を取得する職員は増加したが、年間 10 日以上の年次休暇を取得する職員は、全体の 3 割程度にとどまっている。年次休暇の取得率を向アップさせるために、さらなる工夫が必要である。